

地域資源である人財発掘の意義と活用～名人発掘事業を通じて～その1

発表者 山内自治振興会 竜王 真紀
共同研究者 立命館大学 金井 萬造

1. 問題提起(なぜ名人発掘なのか)

中山間部では、少子高齢化に悩みながら、地域が元気になれる(地域活性の)動きが始まっている。地域活性を進める上で地元の間人が地域に愛着があることが大切な要素である。緑あふれる自然、歴史、文化…そして忘れてはならないのが、人の知恵などの地域資源。特技や知恵を持った人が多くいることに着目し、山内レベルでの“名人”と名づけ、地域の人財の掘り起こしをしようとした。

2. 目的(山内名人発掘事業のめざすもの)

発掘された人財を磨き、地域の魅力を高め、山内の「誇り」を具体化し、地域内だけでなく、地域外からも認められるように取り組んでいくこと、つまり価値ある「山内ブランドづくり」をめざすための第一ステップとした。

3. 方法

発掘の方法として、メンバーだけの意見では偏りのある選出になることを避けるために、2段階方式で聞き取り調査を行った。

1段階目:小学校区の9つの地区(字)から有識者を選出し、有識者より地区に住む名人の名前を聞き取る

2段階目:有識者より選出された名人さんに聞き取りを行う

山内の「誇り」である人財の分野わけ(人財を次の5つに分野わけした)

生業	農業・林業、水産業、生産活動全般
文化・芸術・	木工、歴史、芸術的な趣味、音楽的なもの
生活・活動	趣味、くらし、食事、手芸、生活上の知恵
祭事	氏子の祭り
自然・環境	川、山、環境保全

聞き取り調査項目

	1段階目 有識者への聞き取り調査(15名)	2段階目 名人さんへの聞き取り調査(33名)
手順	事業目的、事業の効果、事業の展開を説明し、事前にお願しいし文書を手渡す	事業目的、事業の効果、事業の展開を説明、有識者からの推薦があったことを伝え、協力を依頼する。
聞き取り内容	字内の特技や技術を持った人の推薦 名人の内容、氏名	得意の知識、技術、知恵の聞き取り ・具体的に聞く・作品を見せていただく・写真撮影・エピソード
注意したこと	字の人脈を聞き、名人さんへの配慮など 有識者さんへの敬意	個人情報や作品を撮影することの許可 名人さんへの敬意

4. 成果・課題

今回の名人発掘事業を通じて、得られたことは以下の通りである。

山内にはいろいろな生活の知恵や技術、豊かな自然や、云われ、多様な生活文化などを教えてくれる人財(宝もの)があり、この営みと歴史を、マップ化したり、瓦版、ファイリングなど可視化することで、地域の独自性が発見された。

班員が地域を歩き、直に話を聞くこと、自分たちでやったことをまとめることは、子ども、若者、壮年層、高齢者と世代をつなげ、地域の資源を見つめなおし、価値を発見するための目線の開発にもなった。

この人財資源を活かし、価値としていくかが今後の課題となる。待っていることを美徳としている価値観の見直しを図り、地域の一人ひとりが活躍できる場所作りや機会作りをしていく必要がある。そして、最終的には経済的な効果を生み出せるよう、振興会の組織として連携、仕組み作りが必要となる。